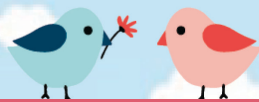




あさがお通信

2023年9月発行



連絡先

医療法人養和会 松本 みゆき
TEL 0859-29-5351
Mail matumoto_m@yowakai.com



医療法人養和会
松本 みゆき 看護師

9月は「がん征圧月間」。1960年（昭和35年）から、がん、その予防について正しい知識、早期発見、早期治療の普及に取り組まれています。ポスターが、病院、自治体、企業に掲載されています。皆さんも目にすることが多いと思います。2人にひとりのがんに罹患する時代、がんの発見の機会を逃さないためにも、検診に出かけて欲しいです。そして、この機会に正しいがんの知識を知って欲しいです。市民公開講座など、何かのイベントに参加してみると、新しい出会い、つながりが生まれます。

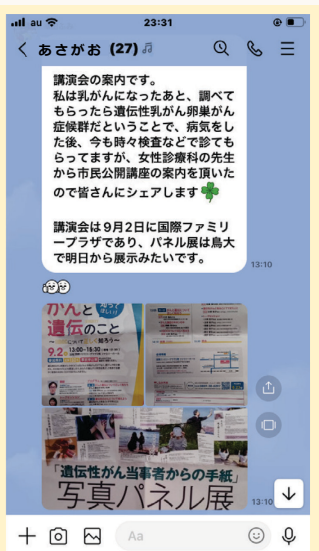


第38回 あさがおを開催しました！

「暑いね」の挨拶から始まったハイブリッドの会。「痛い」と訴えてるが、医師から「数値は変わらないから」と言われてしまう。数値は変わらなくても「痛い」。データだけで治療・看護をしないでほしいよね！参加したみんな意見一致。訴えが聞いてもらえないことってストレスだよね！と医療者への改善して欲しい内容が次々。患者は、知識がないから丁寧にわかりやすく説明して欲しいよね！に意見一致。私たちも患者力アップを！と話を終えました。

グループLINE

グループラインの中では、家族ががん告知を受けたとき、サポートしたらいの相談、素敵な写真で癒されることや、講演会の情報を共有したりしています。



第39回 あさがお

日時 9月26日（火）13時～15時

場所 オレンジサロン（ハイブリッド開催）

第40回 10月29日（日）13時～15時

－毎月開催－奇数月：第4火曜 偶数月：第4土曜－

奇数月は“ゆうがお”として夜に開催します！
20時～21時（19時～Zoomを開放・自由に出入り可）
参加希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい！

オンラインでの参加希望の場合は、
事前に参加申込みをお願いいたします。



あさがおの開催などの情報を掲載しています。ぜひご覧ください！



参加者のコーナー

今月のテーマ「おすすめのひんやりグッズ」



ブルーのクリームソーダ

りょうたん



大社のアイスクリーム

いだも



シャツクール

橋本比呂子



クールネックリング

ひろ

あさがお参加者、グループLINEメンバーから
いただいた作品

次回の写真テーマ：『お気に入りのベストショット！』

皆さんが最近撮影されたお気に入りの写真を募集します！ジャンルは問いません。お待ちしております☆

「肺がん患者になって11年」

大阪 肺がん患者会 Hi!フレンズ 三宅房世

告知されたとき、こんなに長生きできるなんて思ってもみなかった。

2012年10月 肺腺がんステージ4と診断された。息子たちは、長男が大学1年生、次男は中学2年生。次男の中学校の卒業式、高校の入学式…行ってあげられないんじゃないかと思うと、どんどん涙があふれてきた。少しでも長生きして子供の成長を見たい！と思い、肺がんの治療はガツン！と効くものにしてください。と先生をお願いしたぐらい。でも、私は喘息を持っていたので、一番きついお薬はアレルギーが出るかもしれないということで…もう少しマイルドな抗がん剤で治療スタート。

長く生きられないかもしれないという思いは、全く頭から離れなかったので、入院する前にまずやったことは、遺影を撮りにいった。抗がん剤治療が始まったら、私の姿形がどうなるのかもわからなかったから、まだお薬を入れてない素のままの私の写真を残しておきたかったから。入院して最初の治療が始まった。点滴の棒にお薬が掛かっている。これが身体に入っていくんだ…とすぐ構えてた私がいた。いざ点滴が始まって何時間もかけてお薬が身体の中に入っていた。ん??何も変わらんやん！と安堵したのを覚えている。抗がん剤のイメージは、テレビドラマの影響で苦しむものだと思っていたから。少しのムカムカはあったけど、想像していたよりはずっと楽だった。

入院生活は主婦の仕事から離れられて快適～とも思ったぐらい。笑
そうこうしている間に、次男は中学3年生になり、中学校の卒業式にも高校の入学式にも出席できた。次男が高校生になったら、ママ友は作らない！と決めていた。もし、自分が亡くなってしまったとき、知り合いが少ない方がいいと思ったから。でも、そんな思いとは裏腹に、どんどんママ友は増えていき、気づいたら私も楽しい高校生のお母さん生活を送っていた。笑

高校の卒業式、専門学校の入学式、なんなら専門学校の卒業式にも出席でき、そんな場面では、こんな次男の姿を見られたことに感激し、涙も余計に流していた。

その間の自分自身はというと、治療は順調だったがこの先のことを考えると不安しか出てこない。その思いは家族にも友達にも話せない。がんになった人しかわからないことだろうと思っていたので、同じような仲間捜しを始めた。ブログの中に同じような人を見つけ、コメントを入れ合っているとこころから繋がりが持てるようになった。患者会に参加するようになると、同じような世代の肺がん患者さんと会うこともできた。その仲間と過ごす時間は、とても心地よかった。

肺がん患者にはなってしまったけど、新しい楽しみが増え、お出かけ回数も増えていった。そんな時間をもっと増やしたかったし、近くて会える仲間も欲しかったので、大阪にも肺がん患者会を作ろう！と思い、「Hi!フレンズ」という患者会を作った。コロナが流行り、対面で会うことができない3年半もあったが、最近是对面の患者会も再開している。

肺がん患者になって11年。
いっぱい涙も流してきたけど、こうして今も元気でいられることに感謝し、元気でいられるからこそ、私もつらかった時に励ましてもらったように、私にできることをやっいていこうと思っている。
仲間っていいですね♡
私はたくさんの人に助けられてきました。きっとこれからもそうだと思う。
私も誰かの力になれたらいいな！と思う今日この頃です。

